

BEACH CLEANING DIVISION
BEACH PRO
Tokyo-Kanagawa-Chiba-Okinawa



海に囲まれた美しい国 『日本』

BEACH PRO



海に囲まれた美しい国『日本』
しかし海洋からの漂着物やゴミなどで美しいはずの砂浜が汚されているのが実情です。地域のボランティアやNPOにより砂浜清掃活動が行なわれていますが、人間の力だけではゴミとの戦いは容易ではありません。

近年は温暖化による豪雨での河川からのゴミ、大型台風被害の影響、2021年に発生した小笠原弧の福岡ノ場の海底火山活動による噴火による軽石漂着問題もあり、海岸・砂浜清掃(ビーチクリーン作業)の需要はより高まっています。

『子供達が素足で遊べるビーチを目指して』

BEACH PRO(ビーチプロ)は、これまで人の手に頼っていた砂浜のゴミ回収作業を大幅に省力化し、短時間で美しい浜辺を蘇らせます。

BEACH PROが導入したのは最新式のドイツ製海岸清掃用ビーチクリーナーです。

BEACH PROのビーチクリーナーが砂浜の隅々まで走り回り、タバコの吸殻、ペットボトルのキャップや貝殻まで回収します。

ボランティアのみに頼るビーチクリーン活動では、海開きの前や海水浴シーズン中しか清掃活動ができませんでしたが、ビーチクリーナーを活用すれば、一年中美しい砂浜を守り続けることができます。

近年はビーチバレー、ビーチサッカーなど多くのビーチスポーツが開かれています。実際に海岸で開催するには、これらのゴミの問題と危険物(珊瑚や石)の除去が必要です。

BEACH PROは海浜(砂浜)のゴミ収集作業を行い、その後のビーチ文化活動(スポーツ)までを含めて提案します。

PLEASE LEAVE NOTHING BEHIND EXCEPT YOUR FOOTPRINTS

海岸に打ち上げられたゴミを「漂着ゴミ」と言います。そして、海面や海中を流れにのって漂っているものを「漂流ゴミ」、海底に沈んで堆積したものを「海底ゴミ」と言い、それらを総称して『海洋ゴミ』と言います。

また、直径5ミリメートル以下の微細なプラスチックゴミを『マイクロプラスチック』と言います。

マイクロプラスチックは、私たちが普段使っているプラスチック製品の破片が主たるもので、プラスチックに含まれる、あるいは付着している有害物質が食物連鎖に取り込まれ、生態系に及ぼす悪影響が懸念されています。海のゴミの8割は都市部で出たものです。

今、海洋ゴミやマイクロプラスチックに対する関心や意識は非常に高まっており、レジ袋の有料化やプラスチックストローを禁止する動きが出ています。世界経済フォーラムや伊勢志摩サミットでも「海洋ゴミ問題」の対処について議論がなされました。

日本においては、2009年に「海岸における良好な景観及び環境の保全、漂着ゴミの円滑な処理、発生抑制」を目的に海岸漂着物処理推進法が制定され、2019年6月末に大阪で行われたG20でも主要なテーマとなりました。

『ビーチは私たちの重要なアイデンティティである』

BEACH PROでは2021年11月より沖縄県にて海浜の軽石除去実証実験を行っています。大量の軽石が北東からの季節風と潮流の関係で西海岸の海浜に大量に打ち寄せられていました。BEACH PROのビーチクリーナーで恩納村ナビビーチを中心に軽石除去作業を行い、顕著な回収を行うことができました。





- COASTAL LAWS AND REGULATIONS -

海岸漂着物処理推進法

平成21年7月15日に、「美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律」(平成21年法律第82号。以下「海岸漂着物処理推進法」等。)が公布・施行されました。

平成22年3月に、海岸漂着物対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針が閣議決定されました。

平成30年6月22日に、「美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律の一部を改正する法律」(平成30年法律第64号)が公布・施行され、法律名が「美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境並びに海洋環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律」に改正されました。

海岸漂着物処理推進法概要

- Overview -

海岸における良好な景観及び環境並びに海洋環境を保全するため、海岸漂着物の円滑な処理及び発生を抑制を図る。

目的基本理念

総合的な海岸環境の保全・再生

責任の明確化と円滑な処理の推進

3R推進等による海岸漂着物等の発生を効果的な抑制

海洋環境の保全(マイクロプラスチック対策含む)

多様な主体の適切な役割分担と連携の確保

国際協力の推進基本方針・地域計画の策定等国の基本方針都道府県の地域計画(海岸漂着物対策推進協議会)

TAKE ONLY THE MEMORIES AND LEAVE NOTHING BUT FOOTPRINTS



PROTECTING OUR OCEANS AND BEACHES

海岸漂着物に対する管理者(団体)の責任

- Responsibility -

(1) 処理の責任等

海岸管理者は、海岸漂着物等(漂流ごみ・海底ごみを除く)の処理のため必要な措置を講じなければならない。

海岸管理者でない海岸の占有者等は、その土地の清潔の保持に努めなければならない。

市町村は、必要に応じ、海岸管理者等に協力しなければならない。

(2) 地域外からの海岸漂着物への対応

都道府県知事は、海岸漂着物の多くが他の都道府県の区域から流出したものであることが明らかであると認めるときは、他の都道府県の知事に対し、海岸漂着物の処理その他必要な事項に関して協力を求めることができる。

環境大臣は、①の協力の求めに関し、必要なあっせんを行うことができる。

外務大臣は、国外からの海岸漂着物により地域の環境保全上支障が生じていると認めるときは、必要に応じ外交上適切に対応する。

(3) 漂流ごみ・海底ごみの円滑な処理の推進

国及び地方公共団体は、地域住民の生活・経済活動に支障を及ぼす漂流ごみ等の円滑な処理の推進を図るよう努めなければならない。

国・地方公共団体

- Government & local Government -

国及び地方公共団体は

- ①発生状況・発生原因に係る定期的な調査
- ②市街地、河川、海岸等における不法投棄防止に必要な措置
- ③土地の適正な管理に関する必要な助言及び指導に努める。海岸漂着物等の発生の抑制。民間団体等との連携の強化・環境教育・普及啓発等調査研究等海岸漂着物等の円滑な処理
- ④政府は、海岸漂着物対策を推進するために必要な財政上の措置を講じなければならない
- ⑤政府は、離島その他の地域において地方公共団体が行う海岸漂着物の処理に要する経費について、特別の配慮をする
- ⑥政府は、民間の団体等の活動の促進を図るため、財政上の配慮を行うよう努める。財政上の措置美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境並びに海環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律(海岸漂着物処理推進法・議員立法)の概要

国際的な連携の確保・国際協力の推進

- ①事業者は、通常の用法に従った使用の後に河川等に排出される製品へのマイクロプラスチックの使用の抑制や廃プラスチック類の排出の抑制に努めなければならない
- ②政府は、最新の科学的知見・国際的動向を勘案し、海域におけるマイクロプラスチックの抑制のための施策の在り方について速やかに検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。マイクロプラスチック対策(平成21年制定、平成30年6月改正)

BEACH PRO

OBJECTS PICKED UP

BEACH PRO removes the following in the cleaning process:



BEACH PRO picks up
DANGEROUS OBJECTS

砂浜の釘やガラスなどの危険物の回収



BEACH PRO picks up
CIGARETTES

タバコの吸い殻、フィルター
の回収



BEACH PRO picks up
WASTE

ティッシュ、紙製品やボトル、
缶やプルタブの回収



BEACH PRO picks up
PLASTIC PELLETS

粒状になったプラスチックゴミ
の回収



BEACH PRO picks up
PLASTIC WASTE

プラスチックやストロー、ペ
ットボトルの回収



BEACH PRO picks up
STONES

野球ボール大の石や海岸に打
ち上げられたコーラルの回収



BEACH PRO picks up
SEAWEED AND ALGAE

打ち上げられた海藻の回収



BEACH PRO picks up
OIL AND PARAFFIN

打ち上げられたオイルの回収



BEACH PRO picks up
PUMICE

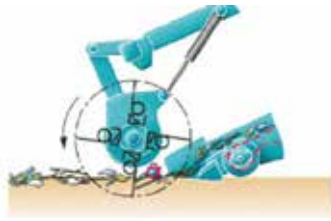
海底火山噴火による漂着した
軽石の回収



BEACH PRO picks up
... AND MUCH MORE!

流木や枯れ木の回収
景観上問題のある物の回収

HOW BEACH PRO MARINA WORK



RAKING TECHNOLOGY

ブレードを砂の面と同一で走行しタイヤの回転を上下調整して地表のゴミを回収が可能です。
生態系に考慮した作業対応になります。
海藻やペットボトル、落ち葉などの回収が容易になります。



SCREENING TECHNOLOGY

ブレードを地面より下に深く潜らせ走行し、砂と同時にゴミを書き上げることで、砂にまみれた細かなゴミの回収が可能です。



COMBINED TECHNOLOGY

ブレードを地面より下に浅く下げ走行し、タイヤの回転でゴミを掻きよせます。
砂浜上の小さなゴミやペットボトルのキャップなど、全てのゴミの回収に適しています。

MARINAの特殊なブレードは運転席から砂の深さを設定(最深20cm)し、①砂の削り取り、②回転タイヤで掻き揚げ(最深30cm)、③掻き揚げと削り取り、を同時に行います。

砂と一緒に掻き揚げられたゴミはスクリーンベルトでホッパーに回収、掻き揚げた砂は回転するスクリーンメッシュで漉されて落とします。同時に車両後方のフィニッシャーにて砂浜を整地します。

HOW BEACH PRO SWEEPY WORK

SWEEPYは小型の海岸清掃車で、特別な資格不要で運用が可能です。ホテル管理のプライベートビーチやMARINAの搬入ができない小規模なビーチでに適しています。



砂に埋もれた細かなゴミから貝殻などのゴミ、危険物を隈なく回収が可能です。



スクリーンメッシュはサイズを細かくすることにより、マイクロプラスチックにも対応可能です。



SWEEPYは小型で小回りが効く自走式のビーチクリナーです。



走行後に砂を慣らすフィニッシャーも装備しています。

事業会社概要

Description

COME TO THE BEACH AND MEET THE BEACH PRO

THE MEDIA GROUP



ビーチクリーン事業

東京
千葉
神奈川
静岡
沖縄



ポストプロダクション 経営管理事業

ウイנקツアー
渋谷センタースタジオ
渋谷西口スタジオ
銀座スタジオ
池尻アーカイブセンター



放送機器製造販売 経営管理事業

フェアライト
DEQX Oty Ltd



不動産管理事業

池尻 山中湖
天城高原 信濃大町
熱海 松山市
片瀬海岸 綾部市
三浦海岸 他

CORPORATE PROFILE

会社名	株式会社EX・アンド・アソシエイト
会社設立	1997年7月1日
TEL(代表)	03-3795-1532
本店所在地	東京都世田谷区池尻3丁目3番11号 EX池尻ビル2階
代表取締役	福田健二
事業概要	放送スタジオ経営管理業、海浜、海岸清掃事業、海浜文化活動、産業廃棄物収集運搬
許認可	東京都 第13-00-214871号(令和2年4月24日～令和7年4月23日) 千葉県 第01200214871号(令和2年6月19日～令和7年6月18日) 神奈川県 第3196号 01400214871(令和2年8月21日～令和7年8月20日)
保有資格	大型特殊自動車、牽引、中型自動車、不整地運転者、車両系建設機械(整地等)運転、 小型移動式クレーン運転、フォークリフト運転、玉掛け、ショベルローダー等運転、 一級船舶操縦士、潜水士、2級海上無線技術、2級陸上無線技術、高圧ガス保安員三種化学、 赤十字救命救急員
事業内容	海岸海浜清掃機等を使用するの海岸・海浜清掃事業及び付帯する事業
主要顧客	官公庁、海岸管理者、スポーツ団体等
決算月	6月末
資本金	資本金6,500万円、準備金5,500万円
社員数	80名(グループ)

THE SUSTAINABLE
GROUP

保有機器

Equipments



MARINA 海岸清掃機器

BEACH PROで使用している最新式の自走式海岸清掃車BEACH TECH社製MARINAは、特定特殊自動車排出ガスの規制に適合しています。海岸(海浜)の面積、現状を確認、搬入出経路により作業面積を算出し、ビーチクリーンのご提案を行います。



MARINA 自走式海岸清掃車

自走式海岸清掃機 (Marina)
(清掃能力15,000平米/1h)
全長6,000mm x全幅1,770mmx全高2,340mm 重量2,850kg
ホッパーサイズ 0.5m³
最小回転半径4,100mm
作業幅1,400mm
作業深 20cm(最深)
作業速度12km/h



SWEEPY 小型海岸清掃車

小型海岸清掃機 (Sweepy)
(清掃能力4,200平米/1h)
全長2,650mm x全幅1,195mmx全高600-1400mm 重量350kg
ホッパーサイズ 44l
作業幅1,050mm
作業深 12cm(最深)
作業速度6.5km/h



SAFETY LOADER 車載ローダー

車両運搬用セーフティローダー
全長8,450mm x全幅2,260mmx全高2,410mm 重量7,970kg

Operation 作業内容

現地確認

現地を確認、回収予定のゴミの種類、回収量、機材搬出入経路、地中埋設物、生態系、面積、潮流、潮汐、風向などを計算して作業実施範囲を設定します。



ご提案

現地確認によりご予算のご提案および方針をご説明します。当日の天候、潮汐、生態系の動向を重点に実施可能日のご提案を致します。



作業実施

予め、立ち入り禁止エリア及び注意エリアをフラッグにて設定して作業を行います。作業実施時期、時間により警備員、誘導員を配置し安全第一で作業実施します。



作業完了

作業完了後は回収したゴミの量を記録し分別、廃棄業者様へ引き渡します。完成後のビーチは素足で歩ける状態で、ビーチスポーツも可能です。



TAKE ONLY THE MEMORIES AND LEAVE NOTHING BUT FOOTPRINTS

スポット契約

台風後、イベント前後、海開き期間中などの都度契約です。回数割引があります。

年間契約

年間を通して美しい砂浜を維持できる年間契約です。

お問い合わせは

WWW.BEACHPRO.COM



upper

Okinawa ANA Intercontinental hotel



middle

Okinawa Hotel Monteley Tiger Beach



lower

Okinawa Nabee Beach

PROTECTING THE ENVIRONMENT

BEACH PRO

Headquarters and Support Contact Information

東京本社 東京都世田谷区池尻3丁目3番11号 EX池尻ビル2階
TEL.03-6450-7717

事業所 神奈川県三浦市金田1009-11
神奈川県藤沢市片瀬海岸2-3-3
静岡県熱海市中央町12-20
沖縄県国頭郡恩納村恩納(開設準備事務所)



**THE BEACH PRO TEAM IS DEDICATED TO THE
SUSTAINABILITY OF THE
COASTAL LINES OF JAPAN**

BEACH PRO